

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜実施要項の概要

1 入試日程

種 類			出願受付	調査書提出	学力検査等	合格発表
特 色 選 抜			2 / 3 (月) から 2 / 13 (木) まで	2 / 3 (月) から 2 / 13 (木) まで	2 / 18 (火) 2 / 19 (水)	2 / 26 (水)
一 般 選 抜			2 / 27 (木) から 3 / 6 (木) まで	2 / 27 (木) から 3 / 6 (木) まで	3 / 11 (火)	3 / 17 (月) ※ 3 / 18 (火)
二 次 募 集			3 / 19 (水) から 3 / 21 (金) まで	3 / 19 (水) から 3 / 21 (金) まで	3 / 25 (火)	3 / 26 (水)
校 入 学 者 選 抜 県立大和中央高	定 時 制 課 程	A 選 抜	2 / 3 (月) から 2 / 13 (木) まで		2 / 18 (火)	2 / 26 (水)
		B 選 抜	3 / 19 (水) から 3 / 21 (金) まで		3 / 25 (火)	3 / 26 (水)
通 信 制 課 程 選 抜 県立山辺高校	通 信 制 課 程	通信制課程 選 抜	2 / 27 (木) から 3 / 6 (木) まで		3 / 11 (火)	3 / 18 (火)
		通信制課程 二 次 募 集	3 / 19 (水) から 3 / 21 (金) まで		3 / 25 (火)	3 / 26 (水)
帰 国 生 徒 等 特 例 措 置			2 / 3 (月) から 2 / 13 (木) まで	2 / 3 (月) から 2 / 13 (木) まで	2 / 18 (火) 2 / 19 (水)	2 / 26 (水)

※は、特色選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科（コース）の合格発表

種 類	申請受付	学力検査	合格発表
追 検 査	3/18 (火) から 3/19 (水) まで	3/24 (月)	3/24 (月)

2 応募資格

保護者とともに奈良県内に居住している者で、以下の①から③までのいずれかに該当するもの。

- ① 中学校若しくはこれに準じる学校を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- ② 中等教育学校前期課程を修了した者又は令和7年3月卒業見込みの者
- ③ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者

※ 県立山辺高等学校自立支援農業科応募にあたっては、①から③に加えて「療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障害を有すると判定を受けた者」、「自力通学が可能である者」及び「山辺高等学校が実施する教育相談を受けた者」が追加要件となる。

3 奈良スーパーアプリWeb 出願システム

以下の①から③までの業務を奈良スーパーアプリWeb 出願システムにより行う。

- ① 受検生は県立高校に、必要書類（写真、自己アピール文等）を電子データにより提出し、入学考査料を納付して出願する。
- ② 県内の中学校・義務教育学校は、県立高校に関係書類（入試に関わる書類、申請書等）を、電子データにより提出する。
- ③ 受検生及び県内の中学校・義務教育学校教員は、奈良スーパーアプリWeb 出願システムにより可否を確認する。なお、今年度より県立学校Web ページでの受検番号による合格発表は行わない。

4 特色選抜

(1) 検査

- ① 国語、数学及び英語の3教科の学力検査（各 40 点満点）を実施する。さらに、学校独自検査、面接及び実技検査の3種類の検査から、各高等学校が選択して実施する。
- ② 国語、数学、英語の学力検査問題は、奈良県教育委員会で作成する。
なお、英語の学力検査には、聞き取り検査を含む。

(2) 入学者の選抜

- ① 調査書成績及び検査成績の得点の合計点の多い者から順に合格者とするを原則とし、調査書のその他の記載事項を資料として総合的に可否を判定する。
- ② 調査書の「各教科の学習成績」及び学力検査の得点に加重配点を行うことができる。
- ③ 各高等学校は、調査書のその他の記載事項において重視する事項を公表し、特別に取り扱うことができる。この場合、当該事項を評価して調査書成績に加算し、各学科（コース）の特色選抜の募集人員の2割を上限として可否を判定する。

5 一般選抜

(1) 実施対象

次のア及びイの学科（コース）で実施する。ただし、イに出願できる者は、特色選抜を受検した者であり、かつ、イを第1希望、アを第2希望とする者とする。

ア 一般選抜で定員の全て又は一部を募集する学科（コース）

イ 特色選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科（コース）

(2) 検査

- ① 国語、社会、数学、理科及び英語の5教科の学力検査（各 50 点満点）を実施する。ただし、定時制課程については、国語、数学及び英語の3教科の学力検査並びに面接を実施する。
なお、英語の学力検査には、聞き取り検査を含む。
- ② 学力検査は、県内一斉に同一問題で実施する。学力検査問題は、奈良県教育委員会で作成する。

(3) 入学者の選抜

- ① 調査書成績と各検査成績との合計点の多い者から順に合格者とするを原則とし、調査書のその他の記載事項を資料として総合的に可否を判定する。
- ② 調査書の「各教科の学習成績」及び学力検査の得点に加重配点を行うことができる。
- ③ 各高等学校は、調査書のその他の記載事項において重視する事項を公表し、特別に取り扱うことができる。この場合、当該事項を評価して調査書成績に加算し、各学科（コース）の一般選抜の募集人員の2割を上限として可否を判定する。

6 二次募集

(1) 検査

面接を実施する。加えて作文を実施する場合がある。

(2) 入学者の選抜

調査書成績と検査成績及び一般選抜の学力検査の得点（一般選抜における追検査対象者は追検査の得点）との合計点の多い者から順に合格者とするを原則とし、調査書のその他の記載事項を資料として総合的に可否を判定する。

7 県立大和中央高等学校入学選抜

定時制課程（二部制）

(1) 選抜の種類

A選抜及びB選抜の枠組みで実施する。

(2) 検査

A選抜においては、国語、数学及び英語の学力検査（各 40 点満点）並びに面接（50 点満点）を実施する。B選抜においては、面接及び作文を実施する。

(3) 入学者の選抜

各検査の合計点の多い者から順に合格者とするを原則とする。

なお、いずれの選抜においても、選抜資料に調査書は用いない。

8 県立山辺高等学校通信制課程選抜

通信制課程

(1) 選抜の種類

通信制課程選抜及び通信制課程二次募集の枠組みで実施する。

(2) 検査

いずれの選抜においても、面接（50 点満点）を実施する。

(3) 入学者の選抜

面接により行う。

なお、いずれの選抜においても、選抜資料に調査書は用いない。

9 帰国生徒等特例措置

I 帰国生徒等特例措置（法隆寺国際高等学校、高取国際高等学校）

(1) 検査

数学及び英語の学力検査（各 40 点満点）、作文（40 点満点）並びに面接を実施する。

(2) 入学者の選抜

検査成績及び面接の結果等を考慮して、総合的に判定する。

II 帰国生徒等特例選抜（国際高等学校）

(1) 検査

数学及び英語の学力検査（各 40 点満点）、作文（40 点満点）、学校独自検査（ライティング、口頭試問）並びに面接を実施する。

(2) 入学者の選抜

調査書成績及び検査成績の得点の合計点の多い者から順に合格者とすることを原則とし、調査書のその他の記載事項を資料として総合的に合否を判定する。

10 定時制課程成人特例措置

(1) 検査

作文（50 点満点）及び面接を実施する。

(2) 入学者の選抜

作文の得点及び面接の結果を資料とし、総合的に判定する。

11 追検査

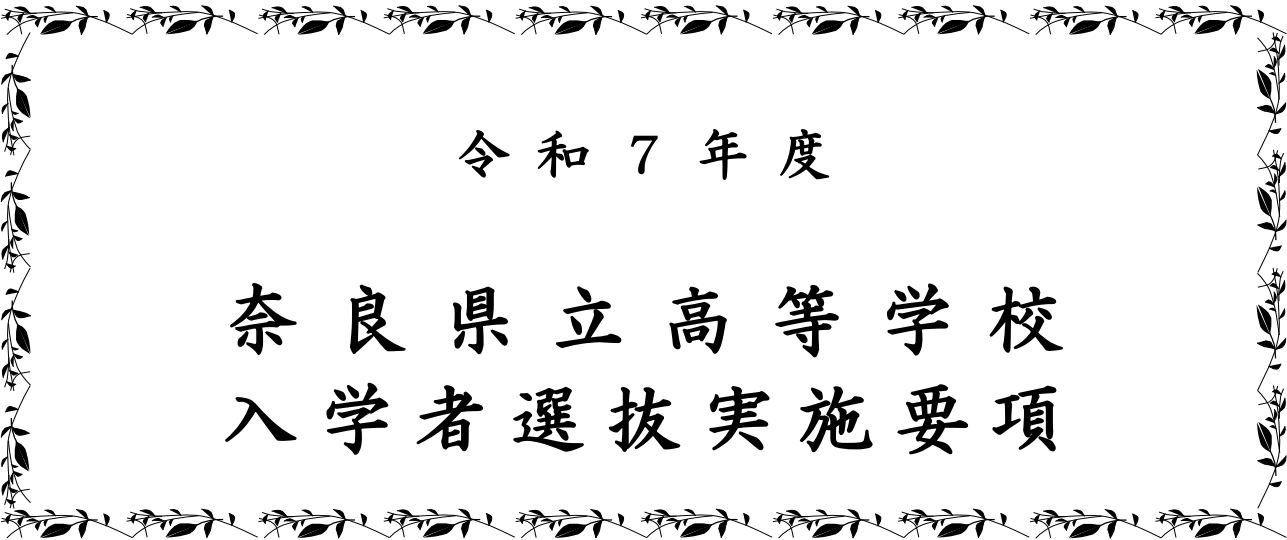
(1) 学力検査

国語、数学及び英語の学力検査を実施する。帰国生徒特例措置の追検査においては数学、英語及び作文を実施する。また、成人特例措置の追検査においては、作文及び面接を実施する。

なお、英語の学力検査には、聞き取り検査を含まない。

(2) 入学者の選抜

学力検査成績と調査書成績及び調査書のその他の記載事項を資料として総合的に合否を判定する。



令和 7 年 度

奈良県立高等学校
入学者選抜実施要項

奈良県教育委員会

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜の日程

月 日 曜			実 施 事 項 等																					
1			※学習成績一覧表等の提出(1月中旬)																					
2	1	土																						
	2	日																						
	3	月																						
	4	火																						
	5	水																						
	6	木																						
	7	金																						
	8	土																						
	9	日																						
	10	月																						
	11	火	建国記念の日																					
	12	水																						
	13	木	特 色 選 抜	帰 国 生 徒 等 特 例 措 置	出願・調査書受付最終日					大 和 中 央 高 校	出願受付最終日													
	14	金																						
	15	土																						
	16	日																						
	17	月																						
	18	火			学力検査等※						学力検査等													
	19	水			学力検査等※																			
	20	木																						
	21	金																						
	22	土																						
	23	日			天皇誕生日																			
	24	月																						
	25	火																						
	26	水			合格発表						合格発表													
	27	木																						
	28	金																						
3	1	土																						
	2	日																						
	3	月																						
	4	火																						
	5	水																						
	6	木	一 般 選 抜		出願・調査書受付最終日					通 信 制 山 辺 高 校 選 抜	出願受付最終日													
	7	金																						
	8	土																						
	9	日																						
	10	月																						
	11	火			学力検査等						検 査													
	12	水																						
	13	木																						
	14	金																						
	15	土																						
	16	日																						
	17	月			合格発表★																			
	18	火			合格発表						合格発表													
	19	水																						
	20	木	春分の日																					
	21	金	二 次 募 集		出願・調査書受付最終日					大 和 中 央 高 校 〔B選抜〕	通 信 制 山 辺 高 校 二 次 募 集	出願受付最終日												
	22	土																						
	23	日																						
	24	月					追 検 査																	
	25	火			検 査		学力検査					検 査												
	26	水			合格発表		合格発表					合格発表												
	27	木																						
	28	金																						
	29	土																						
	30	日																						
	31	月																						

※ 特色選抜の学力検査等は、2月18日、19日の2日間実施する場合がある。
※ ★は、特色選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科（コース）の合格発表。

目 次

▷ 特 色 選 抜	
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者特色選抜実施要項	1
▷ 一 般 選 抜	
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者一般選抜実施要項	6
▷ 二 次 募 集	
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者二次募集実施要項	10
▷ 大和中央高等学校における選抜	
令和 7 年度奈良県立大和中央高等学校入学者選抜実施要項	13
▷ 山辺高等学校における選抜	
令和 7 年度奈良県立山辺高等学校通信制課程選抜実施要項	16
▷ 特 例 措 置	
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者選抜帰国生徒等特例措置要項	19
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者選抜定時制課程成人特例措置要項	23
▷ 追 検 査	
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者選抜追検査実施要項	25
▷ 調 査 書	
調査書及び学習成績一覧表等作成要領	27
▷ 県外志願者等の手続き	
県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領	34
他の都道府県の公立高等学校への進学のための証明手続要領	37
▷ 各種様式	
様式 1 ～ 19	38
▷ そ の 他	
奈良県立青翔中学校に在籍する生徒の奈良県立青翔高等学校への入学について	59
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者選抜における学力検査等の時間割	60
令和 7 年度奈良県立高等学校入学者選抜に関する Q & A	62
＜参考＞	
令和 7 年度奈良県立特別支援学校幼稚部・高等部等入学者選抜・選考実施要項概要	74

令和7年度奈良県立高等学校入学者 特色選抜実施要項

令和7年度奈良県立高等学校入学者特色選抜については、この要項（以下「特色選抜実施要項」といいます。）に基づいて実施します。

1 応募資格

- (1) 保護者（親権者又は未成年後見人をいいます。以下同じ。）とともに奈良県内に居住している者で、次のアからウのいずれかに該当するもの。ただし、「県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領」により承認を得た者は、奈良県内に居住している者とみなします。

ア 中学校若しくはこれに準じる学校（以下「中学校」といいます。）を卒業した者又は令和7年3月卒業見込みの者

イ 中等教育学校前期課程（以下「中学校」に含めます。）を修了（以下「卒業」に含めます。）した者又は令和7年3月卒業見込みの者

- ウ 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条各号のいずれかに該当する者
- (2) 奈良県立山辺高等学校自立支援農業科応募にあたっては、**1 応募資格**(1)に加えて次のアからウを追加要件とします。

ア 療育手帳を所持している者又は児童相談所等の公的機関により知的障害を有すると判定を受けた者

イ 自力通学が可能である者

ウ 山辺高等学校が実施する教育相談を受けた者

2 特色選抜を実施する学校・学科（コース）

「令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜概要」（以下「**入学者選抜概要**」といいます。）に示します。

3 募集人員

募集人員は、「令和7年度奈良県立高等学校入学者募集人員」に定めます。

4 出願の制限

- (1) 出願は、1校1学科（コース）に限ります。ただし、順位を付けて2（3）学科（コース）まで志願することのできる高等学校については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。
- (2) 同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者は、出願することができません。
- (3) 出願後、志願の取消しはできません。
- (4) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領9参照）が必要です。
- (5) 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者は、出願できません。
- (6) 奈良県立青翔中学校に在籍しており、奈良県立青翔高等学校に入学する予定の者は、出願できません。

5 出 願 手 続

(1) 出願受付期間は、次のとおりです。

令和7年2月3日（月）午前9時 から 令和7年2月13日（木）午後3時 まで

(2) 志願者は、出願受付期間内に奈良スーパーアプリWeb 出願システム（以下「Web 出願システム」といいます。）により、志願する高等学校長へ出願してください。

(3) 志願者は、入学考査料として、2,200 円をクレジットカードによるオンライン決済、銀行振込、PayPay(ペイペイ)によるQRコード決済のいずれかで納入してください。銀行振込の場合、入学考査料の他に別途手数料が必要となります。

(4) 面接を実施する学科（コース）への志願者は、出願時に「自己アピール文」記入票（様式9）を、Web 出願システムにより提出してください。

(5) 奈良県立高円芸術高等学校音楽科への志願者は、出願時に実技検査受検種目を選択し、実技検査演奏曲楽譜送付票（様式10）とともに、演奏曲の楽譜（書き込みのないもの）を奈良県立高円芸術高等学校へ郵送してください（出願受付最終日必着）。

(6) 奈良県立添上高等学校スポーツサイエンス科及び奈良県立大和広陵高等学校生涯スポーツ科への志願者は、出願時に実技検査受検種目を選択してください。

(7) 奈良県立十津川高等学校への志願者は、出願時に検査会場を選択してください。

(8) 出願手続が完了すると受検票が発行されます。ダウンロードして、A4判普通紙（白）にモノクロ（白黒）又はカラーで印刷してください。

(9) 志願者の事情により受検しなかった場合、納入された入学考査料の返還は行いません。

(10) 中学校長は、奈良県立山辺高等学校自立支援農業科への志願者については、入学志願資格承認申請書（様式11）及び申請の理由を証明する書類をWeb 出願システムにより提出してください。

6 調査書等の提出

(1) 中学校長は、「調査書及び学習成績一覧表等作成要領」に基づき、調査書、学習成績一覧表及び学習成績分布表を作成してください。

(2) 中学校長は、次のア及びイを奈良県教育委員会事務局高校教育課長（以下「高校教育課長」といいます。）宛て、令和7年1月15日（水）から令和7年1月17日（金）までに提出してください。ただし、県外中学校から出願する者及び過年度卒業者については、提出する必要はありません。

ア 学習成績一覧表（様式5）

イ 学習成績分布表（様式6及び様式7）

(3) 中学校長は、出願者に関する書類を、出願した高等学校長に下記により提出してください。ただし、郵送の場合は、令和7年2月13日（木）午後3時までに到着のものに限ります。

提出期間 令和7年2月3日（月）午前9時 から 令和7年2月13日（木）午後3時 まで

提出書類 ア 調査書（様式1）

イ 特技に関する記録〔体育〕（様式2）（奈良県立添上高等学校スポーツサイエンス科及び奈良県立大和広陵高等学校生涯スポーツ科への出願者についてのみ必要）

ウ 副申書（様式3）（調査書及び学習成績一覧表等作成要領1の(5)のキに

該当する出願者についてのみ必要)

- (4) 出願者に関する書類を郵送する場合は、簡易書留で速達とし、受領書等の返信用として中学校の宛先を明記し、760 円（簡易書留・速達料金を含みます。）分の切手を貼った封筒（定形郵便物用長形 3 号 12.0 cm × 23.5 cm）1 枚を同封してください。また、郵送と同時に電話で、提出する高等学校に、出願者数、出願者氏名、その他必要な事項を連絡してください。
- (5) 高等学校長は、必要に応じて、調査書等の記載内容について中学校長に説明を求めることができます。

7 検 査

- (1) 検査は、「第 1 日」は令和 7 年 2 月 18 日（火）に、「第 2 日」は令和 7 年 2 月 19 日（水）に、出願した高等学校で実施します。ただし、奈良県立十津川高等学校に出願した場合、奈良県立十津川高等学校（吉野郡十津川村込之上 58）又は県立教育研究所（磯城郡田原本町秦庄 22-1）を検査会場として選ぶことができます。日程等の詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。
- (2) 検査は、学力検査及び学校独自検査、面接、実技検査の 3 種類の検査のうち各高等学校が選択した検査により実施します。学力検査は、国語、数学及び英語の 3 教科の検査（各 40 点満点）を実施します。各高等学校・学科（コース）で実施する検査の種類、配点等は、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。
- (3) 学力検査は、県内一斉に同一問題で実施します。学力検査の問題は、奈良県教育委員会で作成します。
- (4) 英語の学力検査には、聞き取り検査を含みます。
- (5) 受検に必要なもの（持参品）
受検票、筆記用具、直定規、コンパス、昼食（入学者選抜概要に示す各高等学校の日程で必要かどうか確認してください。）、上靴、その他指示された用具等
- (6) 検査時に所持、使用してはいけないもの
分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの
- (7) 受検上の留意事項
ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。
イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。
ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。
- (8) インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由により検査を欠席した者を対象に、追検査を実施します。（25、26 ページ参照）

8 入学者の選抜

- (1) 高等学校長は、入学者選抜委員会を設置し、厳正に選抜を行ってください。
- (2) 選抜は、次の資料Ⅰから資料Ⅲに基づいて行ってください。

資料Ⅰ： 調査書成績

調査書の「各教科の学習成績」（以下「学習成績」といいます。）の合計点

(135 点満点)、加重配点(学習成績の取扱いを変えること。また、学力検査の取扱いを変えることをいいます。以下同じ。)をした後の学習成績の合計点又はそれらのいずれかに「特技に関する記録〔体育〕」を点数化した点を加算した後の合計点

資料Ⅱ： 検査成績

特色選抜において実施する各検査の合計点

資料Ⅲ： 調査書のその他の記載事項

調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

(3) 合否の判定については、次のア及びイにより、生徒の優れている点や長所を積極的に評価して、総合的に行ってください。

ア あらかじめ高等学校長が定めた基準に基づいて、資料Ⅲを精査し、その内容が顕著であると認められる者については、合否の判定において、配慮してください。

イ 原則として、受検者ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格としますが、その際、資料Ⅲ等を考慮して総合的に行ってください。

(4) 高等学校長は、資料Ⅲにおいて重視する事項を定め、当該事項を評価して資料Ⅰに加算した点数により、あらかじめ公表した人員(以下「合格人数枠」といいます。)について合否の判定(以下「調査書の特別な取扱い」といいます。)をすることができます。調査書の特別な取扱いについては、次のアからウにより行ってください。

なお、調査書の特別な取扱いを実施する高等学校・学科(コース)の詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

ア 学科(コース)ごとに、特色選抜の募集人員から合格人数枠を除いた人員について、(3)に基づき合否の判定を行ってください。ただし、第2(第3)志望を認める学科(コース)の範囲で合格人数枠を定めている場合は、その範囲の学科(コース)の募集人員の合計人数から合格人数枠を除いた人員について合否の判定を行ってください。

イ アで合格とならなかった受検者全員を対象として、(3)に基づき合否の判定を行ってください。この場合、資料Ⅲにおいて重視する事項を点数化した点を資料Ⅰに加算することとします。

ウ 受検者数が募集人員以下の学科(コース)については、調査書の特別な取扱いを行いません。ただし、第2(第3)志望を認める学科(コース)において、受検者の第2(第3)志望により募集人員を超えた場合は、調査書の特別な取扱いを行ってください。

(5) 高等学校において順位を付けて2(3)学科(コース)まで志願することができる学科(コース)及び第1志望を優先して合否を判定する割合については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(6) 各高等学校における選抜資料の取扱いの詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(7) 調査書及び検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名、生徒番号及び受検番号以外の記号等で行ってください。

(8) 出願者数が募集人員に満たない場合でも、検査を行い選抜します。

9 合 格 発 表

令和7年2月26日（水）に、Web出願システムにより本人に通知します。

10 そ の 他

(1) 中学校長は、出願者で検査当日欠席者があるときは、当該高等学校長に連絡をとり、速やかに欠席届（様式8）をWeb出願システムにより提出してください。なお、追検査を希望する場合は欠席届に代えて追検査申請書（様式18）とそれに関わる書類（25ページ参照）をWeb出願システムにより提出してください。

(2) 合格した場合は、必ず入学するものとします。

(3) 中学校長は、身体に障害がある等、受検の際に特別の配慮が必要と判断される生徒がいる場合には、高校教育課長に事前に連絡の上、協議してください。その後、高校教育課長宛てに書面で申し出てください。

なお、中学校長から高校教育課長への事前の連絡は、急な入院やけが等の場合を除き、令和6年12月26日（木）までとします。

(4) 中学校長は、被災等により既に奈良県内に避難しているが奈良県内に住民票を異動することができない生徒がいる場合には、出願までに高校教育課長に申し出てください。

(5) 学校教育法施行規則第95条第5号の規定により奈良県立高等学校入学者特色選抜に出願を希望する者は、令和7年1月17日（金）までに出席する高等学校長に申し出てください。

(6) 中学校長は、入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等を、進学先の高等学校長に提出してください。

(7) この要項に定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、奈良県教育委員会が別に定めます。

令和7年度奈良県立高等学校入学者 一 般 選 抜 実 施 要 項

令和7年度奈良県立高等学校入学者一般選抜については、この要項（以下「一般選抜実施要項」といいます。）に基づいて実施します。

1 応 募 資 格

応募資格は、特色選抜実施要項 1 応募資格(1)に準じます。

2 一般選抜を実施する学校・学科（コース）

次のア及びイの学科（コース）で実施します。ただし、イに出願できる者は、特色選抜を受検した者であり、かつ、イを第1希望、アを第2希望とするものとします。

ア 一般選抜で定員の全て又は一部を募集する学科（コース）

イ 特色選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科（コース）

なお、「特色選抜を受検した者」の範囲について、高田商業高等学校の特色選抜の受検者、西吉野農業高等学校の特色選抜の受検者は含みますが、大和中央高等学校A選抜の受検者は含みません。また、特色選抜において追検査の対象となった志願者は、イに出願できません。

3 募 集 人 員

募集人員は、「令和7年度奈良県立高等学校入学者募集人員」に定めます。

なお、特色選抜等実施後に確定した募集人員については、令和7年2月26日（水）に発表します。

4 出 願 の 制 限

- (1) 出願は、1校に限ります。同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者は、出願することができません。ただし、4 出願の制限(2)の場合はこの限りではありません。
- (2) 特色選抜を受検した者で、2 一般選抜を実施する学校・学科（コース）イを第1希望とする者は、2 一般選抜を実施する学校・学科（コース）アを第2希望として出願することができます。
- (3) 順位を付けて2（3）学科（コース）まで志願することのできる高等学校については、「入学者選抜概要」に示すとおりです。
- (4) 出願後、志願の取消しはできません。
- (5) 奈良県内の公立高等学校又は他の都道府県の公立高等学校の入学者選抜に合格した者は、奈良県立高等学校入学者一般選抜に出願できません。
- (6) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領 9 参照）が必要です。
- (7) 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者は、出願できません。
- (8) 奈良県立青翔中学校に在籍しており、奈良県立青翔高等学校に入学する予定の者は、出願できません。

5 出 願 手 続

- (1) 出願受付期間は、次のとおりです。

令和7年2月27日（木）午前9時 から 令和7年3月6日（木）午後3時 まで

- (2) 志願者は、出願受付期間内にWeb 出願システムにより、志願する高等学校長へ出願してください。
- (3) 志願者は、入学考査料として、全日制課程は 2,200 円、定時制課程は 950 円をクレジットカードによるオンライン決済、銀行振込、PayPay(ペイペイ)によるQRコード決済のいずれかで納入してください。銀行振込の場合、入学考査料の他に別途手数料が必要となります。ただし、山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校への志願者は、1,000 円を現金で納付してください。
- (4) 面接を実施する学科(コース)への志願者は、出願時に「自己アピール文」記入票(様式 9)を、Web 出願システムにより提出してください。
- (5) **4 出願の制限**(2)により志願する者は、Web 出願システムによる出願時に、第1希望及び第2希望とする学校・学科(コース)を選択してください。
- (6) 出願手続が完了すると受検票が発行されます。ダウンロードして、A4判普通紙(白)にモノクロ(白黒)又はカラーで印刷してください。
- (7) 志願者の事情により受検しなかった場合、納入された入学考査料の返還は行いません。

6 調査書等の提出

調査書等の提出は、特色選抜実施要項**6 調査書等の提出**(1)、(2)、(4)及び(5)に準じます。

なお、中学校長は、出願者に関する書類を、出願した高等学校長に下記により提出してください。**4 出願の制限**(2)による場合は、第1希望及び第2希望どちらの高等学校長にも提出してください。ただし、郵送の場合は、令和7年3月6日(木)午後3時までに到着のものに限ります。

提出期間 令和7年2月27日(木)午前9時 から 令和7年3月6日(木)午後3時 まで
提出書類 ア 調査書(様式1)
イ 副申書(様式3) (調査書及び学習成績一覧表等作成要領1の(5)のキに該当する出願者についてのみ必要)

7 検 査

- (1) 検査は、令和7年3月11日(火)に、出願した高等学校で実施します。
なお、**4 出願の制限**(2)による場合は、第2希望の高等学校で実施します。
- (2) 検査は、国語、社会、数学、理科及び英語(各50点満点)の学力検査を実施します。ただし、定時制課程については、国語、数学及び英語(各50点満点)の学力検査並びに面接を実施します。各高等学校・学科(コース)で実施する検査の種類、配点等は、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。
- (3) 学力検査は、県内一斉に同一問題で実施します。学力検査の問題は、奈良県教育委員会で作成します。
- (4) 英語の学力検査には、聞き取り検査を含みます。
- (5) 受検に必要なもの(持参品)
受検票、筆記用具、直定規、コンパス、三角定規1組(理科の検査で使用できます。)、昼食、上靴
- (6) 検査時に所持、使用してはいけないもの
分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン

・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの

(7) 受検上の留意事項

ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。

イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。

ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。

(8) インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由により検査を欠席した者を対象に、追検査を実施します。(25、26 ページ参照)

8 入学者の選抜

(1) 高等学校長は、入学者選抜委員会を設置し、厳正に選抜を行ってください。

(2) 選抜は、次の資料Ⅰから資料Ⅲに基づいて行ってください。

資料Ⅰ： 調査書成績

学習成績の合計点（135 点満点）又は加重配点をした後の学習成績の合計点

資料Ⅱ： 検査成績

一般選抜において実施する各検査の合計点

資料Ⅲ： 調査書のその他の記載事項

調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

(3) 合否の判定については、次のア及びイにより、生徒の優れている点や長所を積極的に評価して、総合的に行ってください。

ア あらかじめ高等学校長が定めた基準に基づいて、資料Ⅲを精査し、その内容が顕著であると認められる者については、合否の判定において、配慮してください。

イ 原則として、受検者ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格としますが、その際、資料Ⅲ等を考慮して総合的に行ってください。

(4) 高等学校長は、特色選抜実施要項 8 入学者の選抜(4)に準じて調査書の特別な取扱いを行うことができます。

(5) 高等学校において順位を付けて 2（3）学科（コース）まで志願することができる学科（コース）及び第 1 志望を優先して合否を判定する割合については、「入学者選抜概要」に示すとおりです。

(6) 各高等学校における選抜資料の取扱いの詳細については、「入学者選抜概要」に示すとおりです。

(7) 定時制課程において、学力検査等による受検者数と成人特例措置による受検者数との合計が募集人員を超えた場合は、受検者数の比率に応じてそれぞれの合格予定者数を定め、それに従って合格者を決定することを原則とします。この場合、成人特例措置による合格予定者数は次の式により算出し、学力検査等による合格予定者数は、募集人員から成人特例措置による合格予定者数を減じた数とします。ただし、成人特例措置による合格予定者数が募集人員に等しくなった場合は、この原則は適用しません。

<式>

$$(\text{募集人員}) \times \frac{(\text{成人特例措置による受検者数})}{(\text{全受検者数})} \quad [\text{小数点以下は切り上げ}]$$

- (8) 調査書及び検査の事務処理等は、可否の判定が終わるまで、出願者の氏名、生徒番号及び受検番号以外の記号等で行ってください。
- (9) 出願者数が募集人員に満たない場合でも、学力検査等を行い選抜します。

9 合格発表

- (1) 特色選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科（コース）
令和7年3月17日（月）に、Web 出願システムにより本人に通知します。
- (2) 一般選抜で定員の全て又は一部を募集する学科（コース）
令和7年3月18日（火）に、Web 出願システムにより本人に通知します。

10 その他

- (1) 中学校長は、出願者で検査当日欠席者があるときは、当該高等学校長に連絡を取り、欠席届（様式8）をWeb 出願システムにより速やかに提出してください。**4 出願の制限**(2)による場合は、まず検査会場となる第2希望の高等学校に連絡を取り、その後欠席届（様式8）を、第1希望及び第2希望どちらの高等学校にも、Web 出願システムにより速やかに提出してください。なお、追検査を希望する場合は欠席届に代えて追検査申請書（様式18）とそれに関わる書類（25 ページ参照）を、第1希望及び第2希望どちらの高等学校にも、Web 出願システムにより提出してください。
- (2) 合格した場合は、必ず入学するものとします。
- (3) 中学校長は、身体に障害がある等、受検の際に特別の配慮が必要と判断される生徒がいる場合には、高校教育課長に事前に連絡の上、協議してください。その後、高校教育課長宛てに書面で申し出てください。
- なお、中学校長から高校教育課長への事前の連絡は、急な入院やけが等の場合を除き、令和6年12月26日（木）までとします。
- (4) 中学校長は、被災等により既に奈良県内に避難しているが奈良県内に住民票を異動することができない生徒がいる場合には、出願までに高校教育課長に申し出てください。
- (5) 学校教育法施行規則第95条第5号の規定により奈良県立高等学校入学者一般選抜に出願を希望する者は、令和7年1月17日（金）までに希望する高等学校長に申し出てください。**4 出願の制限**(2)による場合は、第1希望及び第2希望どちらの高等学校にも申し出てください。
- (6) 中学校長は、入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等を、進学先の高等学校長に提出してください。
- (7) この要項に定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、奈良県教育委員会が別に定めます。

令和7年度奈良県立高等学校入学者 二 次 募 集 実 施 要 項

令和7年度奈良県立高等学校入学者二次募集については、この要項（以下「二次募集実施要項」といいます。）に基づいて実施します。

1 二次募集の実施

二次募集は、一般選抜で合格者数が募集人員に満たなかった学科（コース）において実施します。

2 応 募 資 格

応募資格は、特色選抜実施要項1**応募資格**(1)に準じます。

3 募 集 人 員

募集人員は、令和7年3月18日（火）に発表します。

4 出 願 の 制 限

- (1) 出願は、1校1学科（コース）に限ります。ただし、順位を付けて2（3）学科（コース）まで志願することのできる高等学校については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。
- (2) 同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者は、出願することができません。
- (3) 出願後、志願の取消しはできません。
- (4) 奈良県内の公立高等学校又は他の都道府県の公立高等学校の入学者選抜に合格した者は、奈良県立高等学校入学者二次募集に出願できません。
- (5) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領**9**参照）が必要です。
- (6) 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者は、出願できません。
- (7) 奈良県立青翔中学校に在籍しており、奈良県立青翔高等学校に入学する予定の者は、出願できません。
- (8) 奈良県公立高等学校入学者一般選抜を受検していない者は、出願できません。ただし、一般選抜における追検査申請者、覚書により三重県の後期選抜を受検した者及び「**県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領**」の**3、4、5、7(1)イ**に該当する者は、出願することができます。

5 出 願 手 続

- (1) 出願受付期間は、次のとおりです。

令和7年3月19日（水）午前9時 から 令和7年3月21日（金）午後3時 まで

- (2) 志願者は、出願受付期間内にWeb 出願システムにより、志願する高等学校長へ出願してください。
- (3) 志願者は、入学考査料として、全日制課程は2,200円、定時制課程は950円をクレジットカードによるオンライン決済、銀行振込、PayPay（ペイペイ）によるQRコード決済のいずれかで納入してください。銀行振込の場合、入学考査料の他に別途手数料が必要となります。ただし、山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校への志願者は、1,000円を現金で納付してください。

- (4) 奈良県立十津川高等学校への志願者は、出願時に検査会場を選択してください。
- (5) 出願手続が完了すると受検票が発行されます。ダウンロードして、A4判普通紙（白）にモノクロ（白黒）又はカラーで印刷してください。
- (6) 志願者の事情により受検しなかった場合、納入された入学考査料の返還は行いません。

6 調査書等の提出

調査書等の提出は、特色選抜実施要項 **6 調査書等の提出** (1)、(2)、(4) 及び (5) に準じます。

なお、中学校長は、出願者に関する書類を、出願した高等学校長に下記により提出してください。ただし、郵送の場合は、令和7年3月21日（金）午後3時までには到着のものに限ります。

提出期間 令和7年3月19日（水）午前9時 から 令和7年3月21日（金）午後3時 まで

提出書類 ア 調査書（様式1）

イ 副申書（様式3）（調査書及び学習成績一覧表等作成要領1の(5)のキに該当する出願者についてのみ必要）

7 検 査

- (1) 検査は、令和7年3月25日（火）に、出願した高等学校で実施します。ただし、奈良県立十津川高等学校に出願した場合、奈良県立十津川高等学校（吉野郡十津川村込之上 58）又は県立教育研究所（磯城郡田原本町秦庄 22-1）を検査会場として選ぶことができます。
- (2) 検査は、面接を実施します。加えて作文を実施する場合があります。
- (3) 各高等学校・学科（コース）で実施する検査の種類、配点等は、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。
- (4) 受検に必要なもの（持参品）
受検票、筆記用具、上靴
- (5) 検査時に所持、使用してはいけないもの
スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの
- (6) 受検上の留意事項
ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。
イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。
ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。
- (7) 検査当日に欠席した者に対する追検査は実施しません。

8 入学者の選抜

- (1) 高等学校長は、入学者選抜委員会を設置し、厳正に選抜を行ってください。
- (2) 選抜は、次の資料Ⅰから資料Ⅳに基づいて行ってください。

資料Ⅰ： 調査書成績

学習成績の合計点（135点満点）又は加重配点をした後の学習成績の合計点

資料Ⅱ： 検査成績

面接の得点又は面接及び作文の得点の合計点

資料Ⅲ： 一般選抜の学力検査の得点（一般選抜における追検査対象者は追検査の得点）

国語、数学及び英語の合計点（150点満点）又は国語、数学及び英語の合計点に加重配点をした点

資料Ⅳ： 調査書のその他の記載事項

調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

(3) 合否の判定については、次のア及びイにより、生徒の優れている点や長所を積極的に評価して、総合的に行ってください。

ア あらかじめ高等学校長が定めた基準に基づいて、資料Ⅳを精査し、その内容が顕著であると認められる者については、合否の判定において、配慮してください。

イ 原則として、受検者ごとに資料Ⅰ、資料Ⅱ及び資料Ⅲを合計し、合計点の多い者から順に合格としますが、その際、資料Ⅳ等を考慮して総合的に行ってください。

(4) 高等学校において順位を付けて2（3）学科（コース）まで志願することができる学科（コース）及び第1志望を優先して合否を判定する割合については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(5) 各高等学校における選抜資料の取扱いの詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(6) 調査書及び検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名、生徒番号及び受検番号以外の記号等で行ってください。

(7) 出願者数が募集人員に満たない場合でも、検査を行い選抜します。

9 合 格 発 表

令和7年3月26日（水）に、Web出願システムにより本人に通知します。

10 そ の 他

(1) 中学校長は、出願者で検査当日欠席者があるときは、当該高等学校長に連絡を取り、欠席届（様式8）をWeb出願システムにより速やかに提出してください。

(2) 合格した場合は、必ず入学するものとします。

(3) 中学校長は、身体に障害がある等、受検の際に特別の配慮が必要と判断される生徒がいる場合には、高校教育課長に事前に連絡の上、協議してください。その後、高校教育課長宛てに書面で申し出てください。

(4) 中学校長は、被災等により既に奈良県内に避難しているが奈良県内に住民票を異動することができない生徒がいる場合には、出願までに高校教育課長に申し出てください。

(5) 学校教育法施行規則第95条第5号の規定により奈良県立高等学校入学者一般選抜に出願を希望する者は、出願する高等学校長に申し出てください。

(6) 中学校長は、入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等を、進学先の高等学校長に提出してください。

(7) この要項に定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、奈良県教育委員会が別に定めます。

令和7年度奈良県立大和中央高等学校入学者選抜実施要項

令和7年度奈良県立大和中央高等学校における定時制課程（二部制）の入学者選抜については、この要項（以下「大和中央高等学校選抜実施要項」といいます。）に基づいて実施します。

定時制課程（二部制）における入学者選抜

1 応募資格

応募資格は、特色選抜実施要項 1 応募資格(1)に準じます。

2 選抜を実施する部

I 部及びII 部で実施します。各部の学習時間帯は、「入学者選抜概要」に示すとおりです。

3 選抜の種類

各部とも、A 選抜及びB 選抜の枠組みで実施します。

4 募集人員

各部の募集人員は、「令和7年度奈良県立高等学校入学者募集人員」に定めます。

なお、B 選抜は、A 選抜で定員に満たなかった部において実施します。

5 出願の制限

(1) 出願は、1つの部に限ります。ただし、順位を付けて2つの部まで志願することができます。志願することができる部の範囲は「入学者選抜概要」に示すとおりです。

(2) 出願後、志願の取消しはできません。

(3) 次のアからエのいずれかに該当する者は、奈良県立大和中央高等学校定時制課程（二部制）における入学者選抜に出願することができません。

ア 各選抜と同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者

イ 奈良県内の公立高等学校又は他の都道府県の公立高等学校の入学者選抜に合格した者

ウ 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者

エ 奈良県立青翔中学校に在籍しており、奈良県立青翔高等学校に入学する予定の者

(4) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領 9 参照）が必要です。

6 出願手続

(1) 出願受付期間は、次のとおりです。

選抜の種類	出 願 受 付 期 間
A 選 抜	令和7年2月3日（月）午前9時 から 令和7年2月13日（木）午後3時 まで
B 選 抜	令和7年3月19日（水）午前9時 から 令和7年3月21日（金）午後3時 まで

(2) 志願者は、出願受付期間内にWeb 出願システムにより、大和中央高等学校長へ出願してください。

(3) 志願者は、入学考査料として、950 円をクレジットカードによるオンライン決済、銀行振込、PayPay（ペイペイ）によるQRコード決済のいずれかで納入してください。銀行振込の場合

合、入学考査料の他に別途手数料が必要となります。

(4) 出願時に「自己アピール文」記入票（様式 9）を、Web 出願システムにより提出してください。

(5) 出願手続が完了すると受検票が発行されます。ダウンロードして、A 4 判普通紙（白）にモノクロ（白黒）又はカラーで印刷してください。

(6) 志願者の事情により受検しなかった場合、納入された入学考査料の返還は行いません。

7 検 査

(1) 検査は、いずれの選抜においても、奈良県立大和中央高等学校で実施します。

各選抜の検査は、次の日に実施します。

選抜の種類	検 査 日
A 選 抜	令和 7 年 2 月 18 日（火）
B 選 抜	令和 7 年 3 月 25 日（火）

なお、日程等の詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(2) A 選抜においては、国語、数学及び英語の学力検査（各 40 点満点）並びに面接（50 点満点）を実施します。B 選抜においては、面接及び作文を実施します。詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(3) A 選抜における学力検査は、奈良県教育委員会が作成した特色選抜の学力検査の問題を使用して実施します。

(4) A 選抜の英語の学力検査には、聞き取り検査を含みます。

(5) A 選抜の受検に必要なもの（持参品）

受検票、筆記用具、直定規、コンパス、昼食

B 選抜の受検に必要なもの（持参品）

受検票、筆記用具

(6) 検査時に所持、使用してはいけないもの

分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの

(7) 受検上の留意事項

ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。

イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。

ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。

(8) A 選抜においては、インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由により検査を欠席した者を対象に、追検査を実施します。B 選抜においては、検査当日に欠席した者に対する追検査は実施しません。（25、26 ページ参照）

8 入学者の選抜

(1) 奈良県立大和中央高等学校長は、入学者選抜委員会を設置し、厳正に選抜を行ってください。

(2) 可否の判定については、原則として、各検査の合計点の多い者から順に合格とします。

- (3) A選抜において、学力検査等による受検者数と成人特例措置による受検者数との合計が定員を超えた場合は、一般選抜実施要項 **8 入学者の選抜** (7)により、合格者を決定することを原則とします。
- (4) 調査書は用いません。
- (5) 順位を付けて2つの部まで志願することができる部の範囲において、第1志望を優先して合否を判定する割合は8割です。
- (6) 検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名及び受検番号以外の記号等で行ってください。
- (7) 出願者数が募集人員に満たない場合でも、検査を行い選抜します。

9 合格発表

次の各選抜の合格発表日に、Web 出願システムにより本人に通知します。

選抜の種類	合格発表日
A 選 抜	令和7年2月26日（水）
B 選 抜	令和7年3月26日（水）

10 その他

- (1) 中学校長は、出願者で検査当日欠席者があるときは、奈良県立大和中央高等学校長に連絡をとり、欠席届（様式8）をWeb 出願システムにより速やかに提出してください。なお、追検査を希望する場合は欠席届に代えて追検査申請書（様式18）とそれに関する書類（25ページ参照）をWeb 出願システムにより提出してください。
- (2) 合格した場合、必ず入学するものとします。
- (3) 中学校長は、身体に障害がある等、受検の際に特別の配慮が必要と判断される生徒がいる場合には、高校教育課長に事前に連絡の上、協議してください。その後、高校教育課長宛てに書面で申し出てください。
- なお、中学校長から高校教育課長への事前の連絡は、急な入院やけが等の場合を除き、令和6年12月26日（木）までとします。
- (4) 中学校長は、被災等により既に奈良県内に避難しているが奈良県内に住民票を異動することができない生徒がいる場合には、出願までに高校教育課長に申し出てください。
- (5) 学校教育法施行規則第95条第5号の規定により奈良県立大和中央高等学校定時制課程（二部制）における入学者選抜に出願を希望する者は、令和7年1月17日（金）までに奈良県立大和中央高等学校長に申し出てください。
- (6) 中学校長は、入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等を、奈良県立大和中央高等学校長に提出してください。
- (7) この要項に定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、奈良県教育委員会が別に定めます。

令和7年度奈良県立山辺高等学校通信制課程入学者選抜実施要項

令和7年度奈良県立山辺高等学校における通信制課程の入学者選抜については、この要項（以下「山辺高等学校選抜実施要項」といいます。）に基づいて実施します。

通信制課程における入学者選抜

1 応募資格

応募資格は、特色選抜実施要項 1 応募資格(1)に準じます。

2 選抜の種類

通信制課程選抜及び通信制課程二次募集の枠組みで実施します。

3 募集人員

募集人員は、「令和7年度奈良県立高等学校入学者募集人員」に定めます。ただし、通信制課程二次募集は、通信制課程選抜で定員に満たなかった場合に実施します。

4 出願の制限

- (1) 同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者は、出願することができません。
- (2) 出願後、志願の取消しはできません。
- (3) 奈良県内の公立高等学校又は他の都道府県の公立高等学校の入学者選抜に合格した者は、奈良県立山辺高等学校通信制課程における入学者選抜に出願できません。
- (4) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領 9 参照）が必要です。
- (5) 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者は、出願できません。
- (6) 奈良県立青翔中学校に在籍しており、奈良県立青翔高等学校に入学する予定の者は、出願できません。

5 出願手続

- (1) 出願受付期間は、次のとおりです。

選抜の種類	出 願 受 付 期 間
通 信 制 課 程 選 抜	令和7年2月27日（木）午前9時 から 令和7年3月6日（木）午後3時 まで
通信制課程二次募集	令和7年3月19日（水）午前9時 から 令和7年3月21日（金）午後3時 まで

- (2) 志願者は、出願受付期間内にWeb出願システムにより、山辺高等学校長へ出願してください。
- (3) 通信制課程の志願者は、入学考査料の納入を要しません。
- (4) 出願時に「自己アピール文」記入票（様式9）を、Web出願システムにより提出してください。
- (5) 出願手続が完了すると受検票が発行されます。ダウンロードして、A4判普通紙（白）にモノクロ（白黒）又はカラーで印刷してください。

6 検 査

- (1) 検査は、いずれの選抜においても、奈良県立山辺高等学校で実施します。

各選抜の検査は、次の日に実施します。

選 抜 の 種 類	検 査 日
通 信 制 課 程 選 抜	令和7年3月11日（火）
通信制課程二次募集	令和7年3月25日（火）

なお、日程等の詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

- (2) 検査は、面接（50点満点）を実施します。詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

- (3) 受検に必要なもの（持参品）

受検票、筆記用具、上靴

- (4) 検査時に所持、使用してはいけないもの

分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの

- (5) 受検上の留意事項

ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。

イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。

ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。

- (6) いずれの選抜においても、検査当日に欠席した者に対する追検査は実施しません。

7 入学者の選抜

- (1) 奈良県立山辺高等学校長は、入学者選抜委員会を設置し、厳正に選抜を行ってください。

- (2) 合否の判定については、原則として、得点の高い者から順に合格とします。

- (3) 調査書は用いません。

- (4) 検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名及び受検番号以外の記号等で行ってください。

- (5) 出願者数が募集人員に満たない場合でも、検査を行い選抜します。

8 合 格 発 表

次の各選抜の合格発表日に、Web 出願システムにより本人に通知します。

選 抜 の 種 類	合 格 発 表 日
通 信 制 課 程 選 抜	令和7年3月18日（火）
通信制課程二次募集	令和7年3月26日（水）

9 そ の 他

- (1) 中学校長は、出願者で検査当日欠席者があるときは、奈良県立山辺高等学校長に連絡をと

り、欠席届（様式8）をWeb 出願システムにより速やかに提出してください。

(2) 合格した場合は、必ず入学するものとします。

(3) 中学校長は、身体に障害がある等、受検の際に特別の配慮が必要と判断される生徒がいる場合には、高校教育課長に事前に連絡の上、協議してください。その後、高校教育課長宛てに書面で申し出てください。

なお、中学校長から高校教育課長への事前の連絡は、急な入院やけが等の場合を除き、令和6年12月26日（木）までとします。

(4) 中学校長は、被災等により既に奈良県内に避難しているが奈良県内に住民票を異動することができない生徒がいる場合には、出願までに高校教育課長に申し出てください。

(5) 学校教育法施行規則第95条第5号の規定により奈良県立山辺高等学校通信制課程における入学者選抜に出願を希望する者は、令和7年1月17日（金）までに奈良県立山辺高等学校長に申し出てください。

(6) 中学校長は、入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等を、奈良県立山辺高等学校長に提出してください。

(7) この要項に定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、奈良県教育委員会が別に定めます。

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜 帰国生徒等特例措置要項

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜における帰国生徒等特例措置は、この要項に基づいて実施します。帰国生徒等特例措置は、「帰国生徒等特例措置」及び「帰国生徒等特例選抜」により実施します。

帰国生徒等特例措置

1 応募資格

特色選抜実施要項 1 応募資格 (1) に定める資格を有する者で、かつ、次のアからウのいずれかに該当するもの。

ア 保護者の海外勤務等に伴う外国での在住期間が、帰国時からさかのぼり継続して2年以上の者で、令和6年1月1日以降に帰国したもの

イ 中国等引揚者等で、原則として小学校第4学年以上の学年に編入学したもの

ウ 外国籍の生徒で、原則として小学校第4学年以上の学年に編入学したもの

2 特例措置を実施する学校・学科

奈良県立法隆寺国際高等学校 総合英語科

奈良県立高取国際高等学校 国際コミュニケーション科

3 募集人員

各校各学科若干名

4 出願の制限

(1) 出願は、上記 2 の高等学校のうち1校1学科に限ります。

(2) 同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者は、出願することができません。

(3) 出願後、志願の取消しはできません。

(4) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領 9 参照）が必要です。

(5) 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者は、出願できません。

5 出願手続

(1) 出願受付期間は、次のとおりです。

令和7年2月3日（月）午前9時 から 令和7年2月13日（木）午後3時 まで

(2) 志願者は、出願受付期間内にWeb 出願システムにより、志願する高等学校長へ出願してください。

(3) 志願者は、入学考査料として2,200円をクレジットカードによるオンライン決済、銀行振込、PayPay（ペイペイ）によるQRコード決済のいずれかで納入してください。銀行振込の場合、入学考査料の他に別途手数料が必要となります。

(4) 出願手続が完了すると受検票が発行されます。ダウンロードして、A4判普通紙（白）にモノクロ（白黒）又はカラーで印刷してください。

(5) 志願者の事情により受検しなかった場合、納入された入学考査料の返還は行いません。

(6) 次の書類を志願する高等学校長に提出してください。ただし、県内の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、イ及びウの提出は不要です。

ア 帰国生徒等特例措置適用申請書（様式 12）

イ 海外生活を証明する書類

ウ 奈良県公立高等学校入学志願許可申請書（様式 13）

6 調査書等の提出

調査書等の提出は、特色選抜実施要項 **6 調査書等の提出** (1)、(2)、(4) 及び (5) に準じます。

なお、中学校長は、出願者に関する書類を、出願した高等学校長に下記により提出してください。ただし、郵送の場合は、令和 7 年 2 月 13 日（木）午後 3 時までには到着のものに限ります。

提出期間 令和 7 年 2 月 3 日（月）午前 9 時 から 令和 7 年 2 月 13 日（木）午後 3 時 まで

提出書類 ア 調査書（様式 1）（調査書を提出できない場合は、これに代わるもの）

イ 副申書（様式 3）（調査書及び学習成績一覧表等作成要領 1 の (5) のキに該当する出願者についてのみ必要）

7 検 査

(1) 検査は、令和 7 年 2 月 18 日（火）に、出願した高等学校で実施します。日程等の詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

(2) 検査は、数学及び英語の学力検査（各 40 点満点）、作文（40 点満点）並びに面接を実施します。

(3) 学力検査は、奈良県教育委員会が作成した特色選抜の学力検査の問題を使用して実施します。

(4) 英語の学力検査には、聞き取り検査を含みます。

(5) 作文の検査問題は、奈良県教育委員会が作成します。

(6) 受検に必要なもの（持参品）

受検票、筆記用具、直定規、コンパス、昼食、上靴

(7) 検査時に所持、使用してはいけないもの

分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの

(8) 受検上の留意事項

ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。

イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。

ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。

(9) インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由により検査を欠席した者を対象に追検査を実施します。（25、26 ページ参照）

8 入学者の選抜

(1) 選抜に当たっては、学力検査及び作文の得点並びに面接の結果等を考慮して、総合的に判定してください。

(2) 調査書及び検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名、生徒番号及び受検番号以外の記号等で行ってください。

9 合 格 発 表

令和 7 年 2 月 26 日（水）に、Web 出願システムにより本人に通知します。

10 そ の 他

- (1) 中学校長は、出願者で検査当日欠席者があるときは、当該高等学校長に連絡をとり、欠席届（様式 8）を Web 出願システムにより速やかに提出してください。なお、追検査を希望する場合は欠席届に代えて追検査申請書（様式 18）とそれに関する書類（25 ページ参照）を Web 出願システムにより提出してください。
- (2) 合格した場合は、必ず入学するものとします。
- (3) 中学校長は、身体に障害がある等、受検の際に特別の配慮が必要と判断される生徒がいる場合には、高校教育課長に事前に連絡の上、協議してください。その後、高校教育課長宛てに書面で申し出てください。

なお、中学校長から高校教育課長への事前の連絡は、急な入院やけが等の場合を除き、令和 6 年 12 月 26 日（木）までとします。
- (4) 中学校長は、被災等により既に奈良県内に避難しているが奈良県内に住民票を異動することができない生徒がいる場合には、出願までに高校教育課長に申し出てください。
- (5) 中学校長は、入学者に関する生徒指導要録の抄本又は写し及び健康診断票等を、進学先の高等学校長に提出してください。
- (6) この要項に定めるもののほか、必要な事項及び特別な事態が生じた場合の措置は、奈良県教育委員会が別に定めます。

帰国生徒等特例選抜

1 応募資格

帰国生徒等特例措置と同じです。

2 特例選抜を実施する学校・学科等

奈良県立国際高等学校 国際科 plus

3 募集人員

募集人員は、「令和 7 年度奈良県立高等学校入学者募集人員」に定めます。

4 出願の制限

- (1) 出願は、上記 2 にある 1 校 1 学科に限ります。
- (2) 同時期に実施される奈良県内の公立高等学校の入学者選抜への出願者は、出願することができません。
- (3) 出願後、志願の取消しはできません。
- (4) 保護者とともに奈良県内に居住していても、他の都道府県の中学校を卒業した者又は卒業見込みの者は、事前に所定の手続（県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領 9 参照）が必要です。
- (5) 高等学校（高等専門学校、中等教育学校後期課程及び特別支援学校高等部を含みます。）に在籍している者は、出願できません。

5 出願手続

帰国生徒等特例措置と同じです。

6 調査書等の提出

帰国生徒等特例措置と同じです。

7 検査

- (1) 検査は、「第 1 日」は令和 7 年 2 月 18 日（火）に、「第 2 日」は令和 7 年 2 月 19 日

(水)に、奈良県立国際高等学校で実施します。日程等の詳細については、「**入学者選抜概要**」に示すとおりです。

- (2) 検査は、数学及び英語の学力検査（各 40 点満点）並びに作文（40 点満点）を実施するとともに、学校独自検査としてライティング（20 点満点）、口頭試問（30 点満点）及び面接を実施します。
- (3) 学力検査は、奈良県教育委員会が作成した特色選抜の学力検査の問題を使用して実施します。
- (4) 英語の学力検査には、聞き取り検査を含みます。
- (5) 作文の検査問題は、奈良県教育委員会が作成します。
- (6) 受検に必要なもの（持参品）
受検票、筆記用具、直定規、コンパス、昼食、上靴
- (7) 検査時に所持、使用してはいけないもの
分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの
- (8) 受検上の留意事項
ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。
イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。
ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。
- (9) インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由により検査を欠席した者を対象に追検査を実施します。（25、26 ページ参照）

8 入学者の選抜

- (1) 選抜は、次の資料Ⅰから資料Ⅲに基づいて行ってください。

資料Ⅰ： 調査書成績

調査書の「学習成績」の合計点（135 点満点）

資料Ⅱ： 検査成績

学力検査、作文、学校独自検査の合計点

資料Ⅲ： 調査書のその他の記載事項

調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」

- (2) 合否の判定については、次のア及びイにより、生徒の優れている点や長所を積極的に評価して、総合的に行ってください。
ア あらかじめ定めた基準に基づいて、資料Ⅲを精査し、その内容が顕著であると認められる者については、合否の判定において、配慮してください。
イ 原則として、受検者ごとに資料Ⅰと資料Ⅱとを合計し、合計点の多い者から順に合格としますが、その際、資料Ⅲ等を考慮して総合的に行ってください。
- (3) 調査書及び検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名、生徒番号及び受検番号以外の記号等で行ってください。

9 合格発表

令和 7 年 2 月 26 日（水）に、Web 出願システムにより本人に通知します。

10 その他

帰国生徒等特例措置と同じです。

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜 定時制課程成人特例措置要項

一般選抜及び奈良県立大和中央高等学校入学者選抜における定時制課程成人特例措置は、この要項に基づいて実施します。

1 応募資格

特色選抜実施要項 1 応募資格 (1) に定める資格を有する者で、平成 17 年 4 月 1 日以前に生まれたもの

2 特例措置を実施する選抜

奈良県立高等学校定時制課程（山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校を含みます。）における一般選抜及び奈良県立大和中央高等学校定時制課程（二部制）における A 選抜で実施します。

3 募集人員

一般選抜実施要項 3 募集人員及び大和中央高等学校選抜実施要項の定時制課程（二部制）における入学者選抜 4 募集人員によります。ただし、各選抜において、成人特例措置による合格者数と学力検査等による合格者数との合計は、募集人員を超えないものとします。

4 出願手続

- (1) 成人特例措置を希望する者は、一般選抜実施要項及び大和中央高等学校選抜実施要項により手続をしてください。
- (2) 志願者は、入学考査料として 950 円をクレジットカードによるオンライン決済、銀行振込、PayPay (ペイペイ) による QR コード決済のいずれかで納入してください。銀行振込の場合、入学考査料の他に別途手数料が必要となります。ただし、山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校への志願者は 1,000 円を現金で納付してください。
- (3) 出願後、志願の取消しはできません。
- (4) 志願者の事情により受検しなかった場合、納入された入学考査料の返還は行いません。
- (5) 「自己アピール文」の提出は不要です。

5 検 査

- (1) 出願した高等学校において、作文（50 点満点）及び面接を実施します。
- (2) 作文の問題は、一般選抜においては奈良県教育委員会が作成し、奈良県立大和中央高等学校入学者 A 選抜においては奈良県立大和中央高等学校が作成します。
- (3) 受検に必要なもの（持参品）
受検票、筆記用具、上靴（大和中央高等学校は除きます。）
- (4) 検査時に所持、使用してはいけないもの
分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの
- (5) 受検上の留意事項
ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。
イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。
ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。

- (6) インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由により検査を欠席した者を対象に、追検査を実施します。(25、26 ページ参照)

6 入学者の選抜

作文の得点及び面接の結果を資料とし、総合的に判定します。

なお、成人特例措置による受検者数と学力検査等による受検者数との合計が募集人員を超えた場合は、一般選抜実施要項 **8 入学者の選抜** (7) 及び大和中央高等学校選抜実施要項の定時制課程(二部制)における入学者選抜 **8 入学者の選抜** (3) により合格者を決定することを原則とします。

7 合 格 発 表

各選抜の合格発表と同時に、Web 出願システムにより本人に通知します。

8 そ の 他

この要項に定めるもののほか、実施については、各選抜の要項に準じます。

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜 追 検 査 実 施 要 項

令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜における追検査については、この要項に基づいて実施します。

1 追検査対象者

インフルエンザ等に罹患するなど、やむを得ない理由で特色選抜、一般選抜、大和中央高等学校A選抜、帰国生徒等特例措置（帰国生徒等特例選抜）、成人特例措置の検査を欠席した者の中で、追検査を希望する者

2 追検査を設定しない学科（コース）

奈良県立磯城野高等学校 フードデザイン科（シェフコース、パティシエコース）

3 受 検 手 続

(1) 追検査を希望する者は、検査当日に中学校長を経て出願した高等学校長にその旨を申し出てください。一般選抜実施要項4出願の制限(2)による場合は、第1希望及び第2希望どちらの高等学校にも申し出てください。また、中学校長は、特色選抜等については令和7年2月21日（金）午後3時まで、一般選抜については令和7年3月13日（木）午後3時までに、Web出願システムにより追検査申請書（様式18）と受検できなかった理由を証明する書類（病気の場合は検査当日の医師の診断書）を、Web出願システムにより高等学校に提出してください。申請を受けた高等学校長は、Web出願システムにより追検査対象証明書（様式19）を中学校長に交付してください。追検査対象証明書（様式19）の交付をもって、志願者からの追検査申請が可能になります。

(2) 志願者からの追検査の申請受付期間は、次のとおりです。

令和7年3月18日（火）午前9時から 令和7年3月19日（水）午後3時まで

(3) 志願者は、申請受付期間内にWeb出願システムにより、志願する高等学校長へ申請してください。

4 検 査

(1) 検査は、令和7年3月24日（月）に、奈良県立教育研究所で実施します。

(2) 検査は、国語、数学及び英語の学力検査を実施します。帰国生徒特例措置の追検査においては数学、英語及び作文を実施します。また、成人特例措置の追検査においては、作文及び面接を実施します。

(3) 学力検査は、奈良県教育委員会で作成した追検査の問題を使用して実施します。

(4) 英語の学力検査には、聞き取り検査はありません。

(5) 受検に必要なもの（持参品）

欠席した検査の受検票、筆記用具、直定規、コンパス

(6) 検査時に所持、使用してはいけないもの

分度器、分度器付きの定規、分度器付きのコンパス、計算機、角度の測定・計算機能・辞書機能・通信機能付きの用具等、検査内容に関わる文字や柄のある用具類、スマートフォン・携帯電話等の通話・通信機能がある情報端末、その他検査に不要なもの

(7) 受検上の留意事項

ア 検査開始の時刻までに入室しない場合は、原則として受検を認めません。

イ 検査中、受検票は必ず机の上に置いてください。

ウ 通話・通信機能がある情報端末の検査会場への持込みは禁止です。スマートフォン・携帯電話等を所持している場合は、集合時の指示に従ってください。

5 入学者の選抜

(1) 高等学校長は、入学者選抜委員会を設置し、厳正に選抜を行ってください。

(2) 募集人員を超えて合格者を決定することができます。

(3) 合否の判定については、各選抜の要項に基づいて、次の資料Ⅰから資料Ⅲにより総合的に行ってください。

資料Ⅰ： 調査書成績

資料Ⅱ： 学力検査成績

資料Ⅲ： 調査書のその他の記載事項

調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び
「スポーツ・文化活動等の記録」

(4) 調査書及び検査の事務処理等は、合否の判定が終わるまで、出願者の氏名、生徒番号及び受検番号以外の記号等で行ってください。

6 合格発表

令和7年3月24日（月）に、Web出願システムにより本人に通知します。

7 その他

(1) 中学校長は、追検査受検願提出者で検査当日欠席者があるときは、高校教育課教育指導係に連絡をとり、第1希望及び第2希望どちらの高等学校にも、Web出願システムにより欠席届（様式8）を速やかに提出してください。

(2) 追検査で合格した場合、他の合格は無効とします。

調査書及び学習成績一覧表等作成要領

調査書、学習成績一覧表及び学習成績分布表の作成については、この要領に基づいてください。

1 調 査 書

- (1) 調査書（様式 1）は、生徒指導要録に基づいて、中学校長が厳正に作成してください。作成に当たっては、調査書作成委員会を設置し、公正を期してください。
- (2) 調査書は、P P C 用紙を使用してください。
- (3) 調査書の「生徒番号」欄には、学習成績一覧表（様式 5）の当該生徒の生徒番号（第 3 学年生徒全員について、1 から始まる一連の番号）と同じ番号を記入してください。ただし、県外中学校から出願する者及び過年度卒業者については、斜線を記入してください。また、令和 6 年 12 月 24 日以降に転・編入学した生徒についても、斜線を記入してください。
- (4) 調査書の「卒業・卒業見込み」については、令和 7 年 3 月 1 日付けで該当するものを○印で囲んでください。
- (5) 学習成績は、次のアからキに従って記入してください。

ア 学習成績は、国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭及び英語の各教科とも、第 2 学年と第 3 学年の成績を 1 : 2 の割合で算出してください。この場合、令和 7 年 3 月卒業見込みの者の第 3 学年の成績は、第 1 学期及び第 2 学期の成績によってください。ただし、2 学期制を実施している中学校においては、4 月から 12 月までの成績によってください。

イ 各教科別に、次の(7)及び(4)を合計した学習成績を 15 点満点で記入してください。

(7) 生徒指導要録に記載された第 2 学年の 5 段階評定値

(4) 第 3 学年の第 1 学期及び第 2 学期の観点別学習状況の評価を総括した 5 段階評定値を 2 倍した数値、又は、第 3 学年の第 1 学期及び第 2 学期のそれぞれの 5 段階評定値を合計した数値

ただし、2 学期制を実施している中学校においては、上記に準じて第 3 学年の評定値を算出してください。

ウ 学習成績の算出に当たっては、中学校長は、各教科の学習成績算出資料（様式 4）を作成し、1 年間これを保存してください。

エ 県外中学校から出願する者の学習成績も、ア及びイのとおり、教科ごとに 15 点満点とします。

オ 過年度卒業者についても、アにより、教科ごとに 15 点満点としますが、当該生徒に関する生徒指導要録記載の第 2 学年及び第 3 学年の評定によって算出してください。

カ 外国の学校（日本人学校等、国内の中学校における教育と同等の教育を行うことを目的とする教育施設を除きます。）から中学校に編入学した生徒及び中学校夜間学級に編入学した生徒については、**4 外国の学校から中学校に編入学した生徒等の調査書の作成等について**に従って調査書その他の書類を作成してください。

（※ なお、カに該当する生徒の調査書成績については、その生徒の検査成績、その生徒が出願した高等学校の全受検者の検査成績及び学習成績を基に算出します。）

キ 何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、生徒が中学校に登校したくともできない状況にあることで、参考にできる資料等が乏しく、適切な評価に努めても、ア及びイのとおり評価ができない教科がある生徒、並びに特別支援学級又は特別支援学校に在籍する知的障害がある生徒で、評価を文章で記述するため、ア及びイのとおり評価ができない教科がある生徒については、次の(ア)から(ウ)により記入してください。

なお、県外中学校から出願する者について、調査書を手書きで作成する場合、次の(エ)及び(カ)により調査書を訂正してください。

(ア) 学習成績をア及びイのとおり評価できた期間に応じて各教科の満点を5点、10点又は15点として算出してください。その際、各教科の学習成績欄は「[学習成績] / [満点]」と、学習成績の合計欄は「[評価ができた教科の学習成績の合計] / [評価ができた教科の学習成績の満点の合計]」と記入してください。

(イ) ア及びイのとおり評価できた期間がない教科の学習成績欄は「―」と記入し、すべての教科の学習成績欄に「―」と記入した場合は学習成績の合計欄も「―」と記入してください。

(ウ) 中学校長は副申書(様式3)を作成し、調査書と併せて高等学校へ提出してください。副申書には、学習成績の記入が困難な事由及び学校としての指導の経緯等を記載し、原則として今年度の医師の診断書やカウンセラーとの相談の記録等の資料を、必ず添付してください。添付資料については、中学校長が原本証明したものとします。

(エ) 学習成績の合計が算出できた場合

調査書の学習成績の合計欄にある「135」を黒の二本線で消し、その上部に「[評価ができた教科の学習成績の満点の合計]」を記入の上、調査書の点線より上の欄外に「3字削除、n字追加」(nは書き加えた文字数)と記入してください。

(カ) 学習成績の合計が算出できない場合

調査書の学習成績の合計欄にある「/135」を黒の二本線で消し、調査書の点線より上の欄外に「4字削除」と記入してください。

(※ なお、キに該当する生徒の調査書成績については、その生徒の検査成績、その生徒が出願した高等学校の全受検者の検査成績及び学習成績を基に算出します。)

(6) 調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」欄の記入の際には、次のアからエ及び調査書記入上の注意事項(31、32ページ)に留意してください。

ア 「学習活動の記録」欄には、「総合的な学習の時間」について、取り組んだ内容を記入してください。

イ 「特別活動の記録」欄には、学級活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動の状況について、主な事実を記入してください。その際、生徒会本部役員であるか学級活動の中での役員であるかの区別ができるように記入してください。

ウ 「行動の記録」欄には、各教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、その他学校生活全体にわたって認められる生徒の行動について、中学校生徒指導要録の「行動の記録」

欄において各中学校が定めた評価項目の趣旨に照らして第2学年と第3学年の2年間にわたって十分満足できる状況にあると判断されたものについて、その評価項目を記入してください。

エ 「スポーツ・文化活動等の記録」欄には、スポーツ活動、文化活動、社会活動、ボランティア活動、資格取得等のア及びイ以外の活動について、その実績等を具体的に記入してください。この場合、部活動については、所属年限や活動状況がわかるように記入してください。また、大会等での実績の記入に当たっては、志願者本人が大会登録メンバー（レギュラーとして先発出場したか否かは問いません。）として出場したもののについて、賞状、記録集及び証明書等で確認の上、成績とともに学年及び主催者名について記入例に従って記入してください。また、「特技に関する記録〔体育〕」（様式2）を提出する生徒の場合には、「特技に関する記録〔体育〕」に記載した競技成績や活動の記録等も記入してください。検定等の資格取得の記入に当たっては、記入例に従って主催者名、名称及び資格取得年月を記入してください。

(7) 平成31年3月以前の卒業者については、(5)及び(6)は記入する必要はありません。

2 学習成績一覧表

- (1) 学習成績一覧表（様式5）は、令和6年12月23日において第3学年に在籍する生徒全員について、学級ごとに別葉で作成してください。ただし、県外中学校から出願する者及び過年度卒業生については、作成する必要はありません。
- (2) 「生徒番号」欄には、調査書と同じ番号（第3学年生徒全員について、1から始まる一連の番号）を記入してください。
- (3) 学習成績が135点満点で評価できない生徒については、備考欄に力又はキ（作成要領1(5)の力、キに対応）を記入してください。

3 学習成績分布表

学習成績分布表（様式6及び様式7）は、学習成績一覧表に学習成績を135点満点で記入した生徒全員について作成してください。ただし、県外中学校から出願する者及び過年度卒業生については、作成する必要はありません。

4 外国の学校から中学校に編入学した生徒等の調査書の作成等について

外国の学校（日本人学校等、国内の中学校における教育と同等の教育を行うことを目的とする教育施設を除きます。）から中学校に編入学した生徒及び中学校夜間学級に編入学した生徒についての調査書その他の書類は、次の(1)から(3)に基づいて作成してください。

- (1) 編入学した中学校又は中学校夜間学級に在籍している期間の学習成績の算出等について
 - ア 第3学年に編入学した生徒については、次の(7)から(9)の区分に応じ、中学校又は中学校夜間学級に在籍した期間についての学習成績を算出してください。
 - (7) 第3学年の第3学期以降に編入学した者
学習成績を算出する必要はありません。調査書の学習成績の欄は空欄にしてください。
 - (8) 第3学年の第2学期に編入学した者
第3学年の第2学期の成績を45点満点（5点×9教科）で算出したものを学習成績

とし、調査書に記入してください。県外中学校から出願する者については、調査書を手書きで作成するため、学習成績の合計欄にある「135」を黒の二本線で消し、その上部に「45」と記入の上、調査書の点線より上の欄外に「3字削除、2字追加」と記入してください。

(㊦) 第3学年の第1学期に編入学した者

第3学年の第1学期及び第2学期の成績を90点満点（10点×9教科）で算出したものを学習成績とし、調査書に記入してください。県外中学校から出願する者については、調査書を手書きで作成するため、学習成績の合計欄にある「135」を黒の二本線で消し、その上部に「90」と記入の上、調査書の点線より上の欄外に「3字削除、2字追加」と記入してください。

イ ア以外の生徒の学習成績は、1の(5)のア及びイに基づき135点満点（15点×9教科）で算出してください。

ウ 過年度卒業生について、生徒指導要録に第2学年の評定の記載がない場合は、(1)のアの(㊦)に準じて第3学年の評定によって90点満点で算出したものを学習成績とし、調査書に記入してください。県外中学校から出願する者については、調査書を手書きで作成するため、学習成績の合計欄にある「135」を黒の二本線で消し、その上部に「90」と記入の上、調査書の点線より上の欄外に「3字削除、2字追加」と記入してください。

(2) 外国の学校に在籍していた期間の成績等について

(1)のア及びウに掲げる者について、外国の学校での成績証明書がある場合は、その写し（中学校長が原本証明したもの）を調査書に添付して出願校に提出してください。この場合、調査書の「学習活動の記録」欄に「添付資料有り」と朱書してください。添付資料については、教科名及び成績等について高等学校から問い合わせる場合があります。

(3) 調査書の「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」欄の記入について

現在在籍している中学校における活動に加えて、外国の学校における活動についても、次のア及びイの要領で記入してください。

ア 「学習活動の記録」欄には、外国の学校が発行した成績証明書等により、学習活動の成果が顕著であると確認できる場合は、その内容を記入してください。

イ 「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」欄には、外国の学校が発行した成績証明書等により、学習活動以外の活動について主な事実、実績等が確認できる場合に、その内容を記入してください。

調 査 書 記 入 上 の 注 意 事 項

- 1 奈良県内の中学校等で令和6年12月23日時点の第3学年に在籍する生徒の調査書等を作成する場合は、奈良県域統合型校務支援システム又は令和6年度に配布する調査書等作成ファイルを用いて作成してください。ただし、生徒番号及び各教科の学習成績以外の記載については、黒ボールペンによる手書きでもかまいません。また、これ以外の生徒の調査書を作成する場合は、全て手書きによる作成でかまいません。
- 2 訂正は黒の二本線で消し、上部に正しいものを記入してください。さらに、点線より上の欄外に「○字削除、○字追加」と記してください。
- 3 平成31年3月以前の卒業者については、「各教科の学習成績」、「学習活動の記録」、「特別活動の記録」、「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」の欄は、空欄にしてください。

(記入例)

令 和 7 年 度 入 学 志 願 者 調 査 書				
ふりがな	な ら た ろ う		※	
生 徒 氏 名	奈良 太郎	性 別	男	受 検 番 号
平成21年 12 月 30 日生				
生 徒 番 号	○○○	本書の記載事項に誤りが無いことを証明します。		
令和7年 3 月 卒 業		令和7年 2 月 7 日		
令和7年 3 月 卒業見込み		学 校 名 ○○○立○○中学校		
記載者氏名	○○ ○○	校長氏名 ○○ ○○		

【生徒氏名】
住民票に記載の氏名を記入する。

【生徒番号】

- ・「学習成績一覧表」と同じ番号を記入する。
- ・県外中学校から出願する者及び過年度卒業生については、斜線を記入する。
- ・令和6年12月24日以降に転入・編入学した生徒については、斜線を記入する。

【卒業等】
令和7年3月1日付けで該当するものを○で囲む。

各教科の学習成績	国 語	9	学習活動の記録	・3年：総合的な学習の時間で「奈良県の観光」の現状と課題について調査・分析し、自分の考えを提言としてまとめ、全校の発表会で発信した。
	社 会	8		
	数 学	9		
	理 科	7	特別活動の記録	・1年：体育委員 ・2年：国語係 ・3年：生徒会本部役員書記
	音 楽	10		
	美 術	11		
	保 健 体 育	9	行動の記録	基本的な生活習慣、責任感、思いやり・協力といった点があげられる。
	技 術 ・ 家 庭	8		
	英 語	13		
	合 計	84	等スポの記録・文化活動	・3年間バレーボール部において継続的に活動した。 ・バレーボール部で副キャプテンを務めた。 ・2年：県バレーボール協会主催、県中学校バレーボール春季選手権大会2位 ・2年：市体育協会主催、市民体育大会バレーボール競技2位 ・日本英語検定協会主催、実用英語技能検定3級(令和5年11月) ・日本書写技能検定協会主催、硬筆書写検定3級(令和4年7月)

※欄は記入しないでください

「特技に関する記録〔体育〕」を提出する生徒の場合には、「特技に関する記録〔体育〕」に記載した競技成績や活動の記録等も記入してください。

例「男子バレーボール部」の場合、「バレーボール部」と記入する。

主催者名等の記入の際、「○○市」というような具体的な地域名を書かず、「市」と記入する。

整理番号	※
------	---

4 「特別活動の記録」欄の記入について

- (1) 生徒会本部役員等の学校全体での役職として、会長、副会長、書記等の活動実績がある場合は、記入例に従って記入してください。

＜記入例＞ 「3年：生徒会長」 「3年：体育委員長」 「2年：生徒会本部役員会計」

- (2) 生徒会本部役員等の学校全体での役職ではなく、学級活動等における活動実績がある場合は、記入例に従って記入してください。

＜記入例＞ 「1年：体育委員」 「2年：国語係」 「3年：美化委員」 「2年：学級会計」

5 「行動の記録」欄の記入について

「中学校生徒指導要録記入・取扱い上の注意」の「行動の記録」欄に関する記入上の注意事項を参考にし、各項目の趣旨に照らして第2学年と第3学年の2年間にわたって十分満足できる状況にあると判断されたものについて、その項目を記入してください。

項 目 の 例				
基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	創意工夫
思いやり・協力	生命尊重・自然愛護	勤労・奉仕	公正・公平	公共心・公德心

※ 市町村教育委員会が設定した項目についても記入できます。

6 「スポーツ・文化活動等の記録」欄の記入について

- (1) 部活動に所属していた場合は、記入例に従って所属年限と活動状況等がわかるように記入してください。

＜記入例＞
 ・3年間バレーボール部において継続的に活動した。
 ・2年間バレーボール部に所属していた。
 ・バレーボール部で副キャプテンを務めた。

- (2) 実績の記入にあたっては、賞状や記録集、証明書等によって確認の上、〔ア. 学年、イ. 大会等の主催者名、ウ. 大会名、エ. 大会の成績〕の4項目を記入例に従って記入してください。

なお、団体競技での大会実績を記載する場合は、志願者本人が大会登録メンバーとして出場したものを記入してください。（レギュラーとして先発出場したか否かは問いません。）また、「特技に関する記録〔体育〕」を提出する生徒の場合には、「特技に関する記録〔体育〕」に記載した競技成績や活動の記録等も記入してください。

＜記入例＞
 ・3年：県バレーボール協会主催、県中学校バレーボール春季選手権大会2位
 ・3年：市体育協会主催、市民体育大会バレーボール競技2位
 ・3年：県吹奏楽連盟主催、県吹奏楽コンクール金賞
 ・3年：県主催、日本学書展特選
 ・2年：県主催、県ジュニア美術展覧会知事賞

- (3) 検定試験を受験して資格を取得した場合、〔ア. 検定試験の主催者名、イ. 資格の名称、ウ. 資格取得年月〕について記入例に従って記入してください。

＜記入例＞
 ・日本漢字能力検定協会主催、日本漢字能力検定3級（令和6年7月）
 ・日本英語検定協会主催、実用英語技能検定3級（令和5年11月）
 ・日本書写技能検定協会主催、硬筆書写検定3級（令和4年7月）
 ・日本数学検定協会主催、実用数学技能検定3級（令和4年11月）

※ 「調査書の特別な取扱い」を実施していない高等学校に出願する場合も、上記に注意して調査書を作成してください。

※ 「行動の記録」及び「スポーツ・文化活動等の記録」欄について、記入する事項が無いという判断になった場合は、空欄にせず「特記事項なし」と記入してください。

各教科の学習成績算出資料（記入例）

3 年 1 組 学級担任 _____

教科(技術・家庭) 教科担任 _____

生徒番号	氏 名	第 2 学年	第 3 学年	学習成績
	(例 1)	4	6	10
	(例 2)	4	3 〰 3	10
	(例 3)	3	4 〰 3	10
	(例 4)	—	2 〰 3	5 / 10

【入力上の注意】

- 「生徒番号」欄には、調査書及び学習成績一覧表と同じ番号（第 3 学年生徒全員について、1 から始まる一連の番号）を記入してください。
- 「学習成績」欄には、第 2 学年と第 3 学年の成績を 1 : 2 の割合で算出し、15 点満点で記入してください。
 - 第 2 学年の成績は、生徒指導要録の 5 段階評定値を記入してください。
 - 第 3 学年の成績は、（例 1）にしたがって、第 1、2 学期の観点別学習状況の評価を総括した 5 段階評定を 2 倍した数値を記入してください。（例 2）のように第 1、2 学期の観点別学習状況の評価を総括した 5 段階評定を、点線で仕切った欄の左右に記入してもかまいません。また、第 1 学期と第 2 学期のそれぞれの 5 段階評定値を用いる場合は、（例 3）のように、第 3 学年の欄を縦に点線で仕切り、左側に第 1 学期の、右側に第 2 学期の 5 段階評定値を記入してください。
 なお、2 学期制を実施している中学校は、（例 1）に準じて記入してください。
- 調査書及び学習成績一覧表等作成要領 1 の (5) のカ又はキに該当する生徒の算出資料については、（例 4）のように、評価ができない部分を「—」と記入し、「学習成績」欄は「[学習成績] / [満点]」と記入してください。ただし、評価ができない教科の「学習成績」欄は「—」と記入してください。

県外居住者及び県外中学校卒業者等の奈良県立高等学校への志願手続要領

1 出願当時は奈良県外に居住している者で、高等学校入学日までに保護者とともに奈良県内に居住し、入学後も引き続き奈良県内に居住することが確実であるもの

(1) 奈良県公立高等学校入学志願許可申請書（様式 13）に必要な書類を添え、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。

(2) 承認手続の期間は、次のとおりです。

ア 特色選抜及び帰国生徒等特例措置及び大和中央高等学校 A 選抜

令和 7 年 1 月 14 日（火）から令和 7 年 1 月 29 日（水）までの午前 9 時から午後 5 時まで

イ 一般選抜及び山辺高等学校通信制課程選抜

令和 7 年 1 月 14 日（火）から令和 7 年 2 月 21 日（金）までの午前 9 時から午後 5 時まで

ウ 二次募集、大和中央高等学校 B 選抜及び山辺高等学校通信制課程二次募集

令和 7 年 1 月 14 日（火）午前 9 時から令和 7 年 3 月 21 日（金）正午まで

(3) その他必要な事項については、別に定める「令和 7 年度奈良県立高等学校入学者選抜の受検を希望する皆さんへ」によります。

2 奈良県外に居住している者で、教育に関する事務の委託により奈良県内の中学校を卒業したもの又は卒業見込みのもの

奈良県公立高等学校入学志願許可申請書（様式 13）により、あらかじめ奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。

3 和歌山県に居住している者で、本県と和歌山県との覚書により、指定地域内の公立中学校を卒業したもの又は卒業見込みのもの

奈良県立十津川高等学校に出願できます。この場合、奈良県立高等学校入学志願許可申請書（様式 14）により、特色選抜においては、令和 7 年 1 月 14 日（火）から令和 7 年 1 月 29 日（水）午後 5 時までに、二次募集においては、令和 7 年 3 月 21 日（金）正午までに、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。ただし、二次募集においては、和歌山県の一般選抜等を受検している者に限ります。

4 三重県名張市に居住している者で、同市内の公立中学校を卒業したもの又は卒業見込みのもの

二次募集に限り、橿原市、桜井市及び宇陀市内に設置する奈良県立高等学校に出願できます。ただし、三重県の後期選抜を受検している者に限ります。この場合、奈良県立高等学校入学志願許可申請書（様式 14）により、令和 7 年 3 月 21 日（金）正午までに、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。

5 三重県伊賀市又は名張市に居住している者で、それぞれの市内の公立中学校を卒業したもの又は卒業見込みのもの

山添村立奈良県立山辺高等学校山添分校に出願できます。この場合、奈良県公立高等学校入学志願許可申請書（様式 13）により、一般選抜においては、令和 7 年 1 月 14 日（火）から令和 7 年 2 月 21 日（金）までの午前 9 時から午後 5 時までに、二次募集においては、令和 7 年 3 月 21 日（金）正午までに、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。

6 奈良県外に居住している者で、奈良県内の企業等に就職しているもの又は就職する予定のもの

(1) 奈良県立高等学校の定時制課程（奈良県立大和中央高等学校及び定時制課程の分校を除きます。）に出願できます。

(2) 志願する者は、奈良県公立高等学校入学志願許可申請書（様式 13）により、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。

(3) 承認手続の期間は、次のとおりです。

令和7年1月14日（火）から令和7年2月21日（金）までの午前9時から午後5時まで。

7 奈良県外に居住している者で、次の奈良県立高等学校で学ぶ意欲があるもの

(1) 令和7年度奈良県立高等学校入学者選抜において、次のア、イの枠組みで募集を行います。保護者の奈良県への転居は必要ありません。

ア 特色選抜において、次の(ア)、(イ)の枠組みで全国募集を行います。

(ア) 高等学校入学後、各校が指定する運動部に所属し、選手として3年間継続して活動する意欲がある者が志願できる学校・学科（コース）及び指定する運動部は、次のとおりです。

学 校	学科（コース）	指定する運動部
奈良県立山辺高等学校	総合学科	馬術部、 ライフル射撃部
	農業探究科	
奈良県立御所実業高等学校	環境緑地科	ラグビー部
	機械工学科	
	電気工学科	
	都市工学科	
	薬品科学科	
奈良県立宇陀高等学校	普通科	自転車競技部
	情報科学科	
	こども・福祉科	
奈良県立王寺工業高等学校	機械工学科	ボクシング部
	電気工学科	
	情報電子工学科	
奈良県立十津川高等学校	総合学科	ボート部

(イ) 各校の学科（コース）に対して強い目的意識がある者が志願できる学校・学科（コース）は、次のとおりです。

学 校	学科（コース）
奈良県立御所実業高等学校	薬品科学科

イ 奈良県十津川村に移住し、寮生活をしながら奈良県立十津川高等学校総合学科での学習を希望する者を対象に募集します。

(2) 上記(1)のアの場合、奈良県立高等学校全国募集入学志願許可申請書（様式 15）に必要な書類を添え、令和7年1月14日（火）から同年1月29日（水）午後5時までに、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。

また、上記(1)のイの場合、奈良県立高等学校入学志願許可申請書（様式 14）に必要な書類を添え、特色選抜においては、令和7年1月14日（火）から同年1月29日（水）午後5時までに、二次募集においては、令和7年3月21日（金）正午までに、奈良県教育委員会教育長の承認を得てください。ただし、二次募集においては、他の都道府県の一般選抜等を受検している者に限ります。

(3) 受入人数は、上記(1)のアの(ア)、アの(イ)、イそれぞれにおいて学校・学科（コース）ごとに募集人員の15%を上限とします。ただし、募集人員の15%を上限として合格者を決